

# 平成 25 年度 情報通信技術系活動報告

大下 弘

工学系技術支援室 情報通信技術系

## 1. はじめに

本技術系は、課長1名、課長補佐1名、班長2名、班員（2班に配置）10名の合計14名で構成されている。本年度は、2年ぶりに新規採用者が加わり定員通りの配置となっている。

## 2. 情報通信技術系の実施業務

本年度の本技術系への業務依頼件数は56件であり、その大部分はサーバーやWebの管理などの年間を通じた業務依頼である。また本技術系では、工学研究科以外の業務依頼に対応しており、工学研究科以外6件の業務に対応している。

また、これらの依頼業務のほか技術部サーバー管理・メンテナンス等も行っている。

## 3. 業務調整会議・技術系打合せ

本技術系の円滑な運営をする目的で、課長1名、課長補佐1名、班長2名の計4名の技術職員で「業務調整会議メンバー」を構成している。そして、技術系内の業務調整・技術力の向上のための企画等の審議を行うために「業務調整会議」を開催している。この「業務調整会議」は、毎月系会議開催週と2週間後の水曜日に開催し、1月末までに17回開催してきた。そして、本会議で審議した内容については会議メモとして、系内の技術職員に配布する事で情報公開を行ってきた。なお会議メモに関しては、グループウェアに掲載することにしたため、9月の講習会以降からは、新規掲載したことをメールで周知している。

また「技術系打合せ」は、「業務調整会議」の未開催水曜日（祝日は除く）に開催し、「業務調整会議」で審議すべき事項をあらかじめ検討することで「業務調整会議」を補足する役目を果たしている。これにより審議事項の迅速な決定や会議メンバー間の意思の疎通が可能となった。なお、1月末までに17回開催した。

## 4. 技術系班会議

技術班内の依頼業務の推進や技術系内運営等の情報交換を行う目的で、平成22年度から「班会議」を開催している。班会議は、毎月開催される技術部系会議に引き続き開催することとし、開催時間は30分程度である。そして、班会議での議論については、班長から班会議メモが作成され、業務調整会議メンバーに周知されることで「業務調整会議」にも反映できている。

## 5. 技術専門委員会

技術専門委員会は、技術系内で検討すべき項目の中で、専門的なアドバイスを必要とする事柄等を解決するため、本技術系をサポートして頂いている教員と技術職員が協議を行う場である。

本年度の技術専門委員会メンバーは以下の通りである。

教員側委員（○印：委員長）

- ・情報支援室長 ○河口信夫教授
- ・サテライト・ラボラトリ管理運用支援室長 田川智彦教授
- ・電気・情報系 松村年郎教授
- ・機械系 松本敏郎教授

技術職員側

- ・大下 弘 課長
- ・鬼頭良彦 課長補佐
- ・佐々木康俊 班長
- ・野崎公隆 班長

本年度は本専門委員会で審議すべき事として、「新規技術職員の採用計画」という案件があった。本件に対して、「業務調整会議」で原案を作成し、本委員会で審議・了承され、教育研究支援委員会に提出した。その結果、平成27年度からの新規採用が承認された。

## 6. 技術系研修

本年度の「技術系研修」には、5名の技術職員が参加して「仮想プライベートネットワーク(VPN)の有効利用の検証」というテーマに取り組んだ(研修内容については、技術部研修報告を参照)。

## 7. 技術講習会

毎年、技術系で必要な専門技術を習得するために技術講習会を開催している。本年度は、下記の要領で技術講習会を開催した(講習内容については、技術講習会報告を参照)。

開催日時：平成25年 9 月 4 日（水） 10:00～12:00

開催場所：技術部会議室(7号館B棟313号室)

講師：雨宮尚範

講習題目：グループウェアの使い方

## 8. 技術部サーバー管理等

当技術系では、技術部の情報機器に関連した業務を担当している。具体的な業務内容は以下のとおりである。

- (1) 技術部サーバー(Web, Mail & DNS)の管理
- (2) 技術部ホームページの管理
- (3) IP アドレス管理
- (4) 業務依頼システムの管理

## 9. 情報通信技術系研鑽用サーバー管理等

本年度はこれまでの環境整備費で導入された、研鑽用サーバーを本格稼働させた。そのため、研鑽用サーバーを使うための規定や管理体制を確定させた。現在、研鑽用サーバーではグループウェア用の仮想サーバー、業務用サーバー構築のための仮想サーバーが3台以上動いている。